



小澤洋介、三戸素子、P ヤング友の会ニュース

そろそろ梅雨入りの気配を感じる気候になりました。4月9日に行われた友の会有志、アルコイリス協賛のサンクト・フローリアン三重奏団の演奏会、そして鎌倉円覚寺のチャリティーコンサートに、さまざまなお便りが寄せられました。すべてご紹介できないのがとても残念です。お寄せくださった皆さまに心より御礼申し上げます。それでは、熱気あふれる演奏の模様をどうぞ。

2001年4月9日サンクトフローリアン三重奏団東京文化会館を聴いて

友の会会員 野崎 譲

今回のプログラムを聴いて改めてサンクトフローリアンの演奏の素晴らしさに感動いたしました。モーツァルト、西津健一氏、シューベルトとそれぞれ時空を超えた方々の曲が、まるで、ひとつの連作交響詩の如く統一感を持ち、スリリングで気宇壮大それでいてディテールに凝ったレクイエムのようにも聴こえました。

モーツァルトに続いて、演奏された西津健一氏のピアノ三重奏曲第2番には驚愕しました。哀しく、切ないようなヴァイオリンとチェロの導入の音色、そしてピアノの低音で始まる第2楽章と、ふと眼を閉じるとサミュエル・バーバーの名曲、「弦楽のためのアダージョ」やリルケの「ドウィノの悲歌」の詩の断片、そして横浜の自宅から早めに上野に行き鑑賞した上野の森美術館で開催されていた「ヴェネツィア絵画展」のセバスティアノ・リッチの「煉獄の霊をとりなす聖母」やジャンパッティスタ・ティエポロの「受胎告知」「アブラハムと3人の天使」「聖カエタヌスに現れる聖家族」等を想起しました。

元々シンフォニー好きで室内楽というと軽やかであり重厚ではないような印象しか持っていなかった小生が、サントリーホールでウォルフガング・サバリッシュ指揮のシカゴ交響楽団のブルックナーの交響曲第4番を前列3番目で聴いた以来の感動でした。まるで三戸さんがコンサートマスターでフルオーケストラの演奏を聴いているようでした。シューベルトの曲の途中で三戸さんのヴァイオリンの弓の毛が切れるハプニングもあったことでも、このプログラムの充実ぶりがうかがえます。

是非、このプログラムの再演を聴きたいと思いました。また是非CD化して頂き何度も繰り返し聴きたいものです。

春爛漫のコンサート

友の会会員 外谷千春

櫻舞う 北鎌倉の 夜はふけて
心に響く シューベルトの音(ね)

4月7日第10回を迎えた、円覚寺での骨髄バンクチャリティコンサートは、記念すべき記念すべき表彰式から始まりました。

演奏のサンクト・フローリアントリオの皆さん、会場の円覚寺住職齋藤和尚さん、司会のNHKアナウンサー坪郷さんなどに感謝状が手渡され、厳かな雰囲気の中に第一曲のモーツァルトが鳴り渡りました。

続く第二曲目は、この日が初公開の、若き西澤健一氏の作品。第一楽章のコラールに始まり、吸い寄せられるような展

開！ 三曲目のシューベルトの終楽章のトレモロは切なく、美しく、桜吹雪を思わせました。

4月9日の東京文化会館は、円覚寺とは対照的なモダンなホール。トリオの皆さんは、本当に素敵です!!

7日のプログラムに加えて、アンコールは、7歳の時のモーツァルトのピアノトリオ第1番から。思わず、隣に座っている8歳の娘と、顔を見合わせてしまいました。きっと、傍らでお父さんのレオポルドが、見守っていたのでしょう。

春風の如く、粋な置きみやげをくれた、二つのコンサートでした。

サンクト・フローリアン春の円覚寺を聴いて

友の会会員 志賀 紳

4月7日、花曇りの夜の円覚寺で、私たちは一人の括目すべき作曲家の出現に立ち合ったようです。モーツァルトとシューベルトに狭まれた「西澤健一」という聞きなれない名前...。しかし、私たちは三者三様に十分に聞きごたえのある音楽に、二時間を過ごしたのでした。

1、モーツァルト「ピアノ三重奏曲 K496」

この人たち(サンクト・フローリアン・トリオ)のモーツァルトには聞くたびに驚かされます。この曲は、最初のピアノの音から、とてもきれいで、すばらしい音楽なのでした。しかし、とくに第二楽章の後半から、モーツァルトの独りご

と、内面の声のようなものが聞こえてきます。そして、おどろくことには、この曲は、最後までおいしいお菓子のよう、この上なく美しい音楽でありつつながら、とくにチェロの低音に、抑えきれない彼の内面の声も深まり、充実していく、という二重構造を持っているようなのです。こんな音楽をつくったモーツァルトが若死するのは当然だとさえ思いました。

2、西澤健一・「ピアノ三重奏曲第2番」

「神は細部に宿る」といいますが、この曲には、魅力ある細部がはじめからいくつもあり、とてもいいのでした。

しかし、私の印象は、二日後の上野文化会館で配られたプログラムとは相当ちがうものです。「パロディ」の雰囲気は全く感じませんでした。演奏をききながら、私には、なつかしい風景が次々に見えてくるようでした。タルコフスキーの映画(とくに「ノスタルジア」)の回想シーンを思いつけました。こんな若い人が、どうして、私たちの「心の古層」にも触れてくるような、こういうイメージを持てるのだらうと思います。一番近いように、私に感じられるのは、ヤナーチェク、リムスキーコルサコフ、それに二十世紀初めのトランシルヴァニアの森にいたハンガリーの音楽家たちです。“宗教的”なものもたしかにあります。しかし私にはそれは宮沢賢治の「琵琶門天の宝庫」、五来重の「日本庶民伝教史」の記述に近いものです。私の母も岩手の田舎で最近死にましたが、その時、私も加わった葬送行列、夜の「百万遍愈仏」の合唱なども、どうしても思い出されました。「アーメン」もあるとのことですが、幸か不幸か西洋音楽の約束事に疎い私には、それと響きませんでした。聖書の中の「アーメン」ではなく、タルコフスキーの映画にちらと出て来るロシアの夜の森の分離派の祈り、日本東北の“かくれきりしたん”のつばやきのようなものは、たしかに聞いたのですが。おそらく、私の印象は特殊だらうとも思います。私は自分の問題意識と重ねて、映画でも見るように、とても面白くこの音楽を聞いたのでした。「出所不明」ともいえますが、ここにこの人の新しいオリジナリティーがあるのかしれません。あるいは、この若い作曲家は、プログラムにもあるように、モーツァルトやベートーヴェンの深い森の中で何かをつかみ出してきただけでしょうか。

3、シューベルト「ピアノ三重奏曲第2番」
西澤氏の曲をきいたあと、この曲ははじめは散漫に聞こえましたが、やがて暗い情熱のようなものに引き込まれました。とくに第二楽章。美しいが単純なメロディーを執拗に鳴らしつづける中で、シューベルトは、自分の心の中のものを次々ひっぱり出すことに我を忘れていくようです。単調ななつかしい旋律が淋しさになり、どんどん深められて悲しみになっていく。しかし、その度にさらになつかしいものが見つかり、手のとどかぬものへのあこがれとなり、さらにそれも越えた永遠的なもの、希望でもありあきらめでもあるような深い、暗く明るい世界になっていく。聞いていて涙が流れました。「冬の旅」とどちらが早かったのでしょうか。感動しました。「長すぎる」などということは断じてありません。この執拗さのおかげで、私たちは、芸術の一つのすごい世界を見ることができたのです。シューベルトとサンクト・フローリアン・トリオに心から感謝します。

サンクト・フローリアン三重奏団

4月9日東京文化会館ライブ

限定 私家版 CD

特別頒布！！

CD2枚組 5,000円

曲目：モーツァルト、西澤健一、シューベルト

演奏会の完全無修正生録音

お申し込み、お問合せ、友の会事務局まで

「小澤洋介、三戸素子、フィリップ・ヤング友の会事務局」TEL/FAX.044-854-6227

神谷(こうや)まさ子 〒213-0033 川崎市高津区下作延 927-6-105

*収益金は基金として、彼等の演奏活動に役立てられます。

今後の主なコンサートとスケジュール

7月15日 クライネスコンツェルトハウス Op. 11 東京文化会館

10月6日 小澤洋介チェロの世界 in 八ヶ岳 バッハ無伴奏チェロの組曲 シリーズ その2

10月下旬 クライネス・コンツェルトハウス メキシコ演奏旅行

12月7日 小澤洋介、レーベンスクロフトチェロリサイタル 東京オペラシティ

1月27日 クライネスコンツェルトハウス Op. 12 東京文化会館

4月14日 三戸素子、クリスティーナ・ヴェーナーヴァイオリンリサイタル 東京文化会館

5月12日、20日 モーツァルト後期弦楽四重奏曲 連続三回演奏会 東京文化/東京オペラシティ



新規会員を随時募集しております。知人、ご友人の方々に友の会をぜひご紹介下さい。

年会費 一口 1,000円

郵便振替口座

00260-1-13926

加入者名

「友の会 小澤洋介・三戸素子・
フィリップ・ヤング」

新規入会ご希望の方はその旨お書添えの上直接年会費をお振込下さい。

7月15日(日) 東京文化会館室内楽シリーズ

クライネス・コンツェルトハウス Op.11

ドイツ・ロマン派の系譜

- ・R. シュトラウス：弦楽四重奏曲 1長調 作品2
- ・ブラームス：ホルン三重奏曲 変ホ長調 作品40
- ・シューマン：ピアノ五重奏曲 変ホ長調 作品44

出演：ピアノ：ラファエル・ゲラ / ヴァイオリン：三戸素子 / ヴァイオリン：山田耕司 / ヴィオラ：二宮隆行 / チェロ：小澤洋介 / ホルン：藤田乙比古

東京文化会館 小ホール 2pm 開演 ￥3,500

お問合せ：ハラミュージックエンタープライズ TEL.03-3587-0218

クライネス・コンツェルトハウス事務局 FAX.042-945-6329

10月6日(土) 小澤洋介チェロの世界 in 八ヶ岳

バッハ無伴奏チェロの組曲 シリーズ その2

- ・バッハ：無伴奏チェロ組曲

第3番 八長調、第5番 八短調、第4番 変ホ長調

会場：谷櫻酒造 蔵元ホール(八ヶ岳山麓 大泉村)

問：友の会八ヶ岳支部 三井千恵子 TEL.0551-38-0354